

# 積 寒 協 ニ ュ ー ス

**全国積雪寒冷地帯振興協議会理事 島田長野県栄村長が自由民主党平成 24 年豪雪対策本部・災害対策特別委員会合同会議に出席し、豪雪地帯の現状について説明のうえ、豪雪法改正に併せた施策要望を行いました。**

2 月 10 日（金）8 時から自由民主党本部において、自由民主党平成 24 年豪雪対策本部・災害対策特別委員会（委員長：谷公一衆議院議員）合同会議が開催されました。



（今冬の大雪の状況、地方自治体の取組などについて説明する島田理事。右端は、谷垣自由民主党総裁）

会議には、自由民主党からの要請により、全国積雪寒冷地帯振興協議会理事の島田長野県栄村長が出席しました。

冒頭に、今冬の大雪等による被害状況及び政府の対応について説明がされた後に、島田理事が、今冬の大雪の状況や自治体における雪対策の取組について説明し、今年度末で期限切れを迎える豪雪法特例措置の期限延長及び法改正にあたっての要望事項について説明をいたしました。



（自由民主党平成 24 年豪雪対策本部・災害対策特別委員会合同会議の会場の様子）

その後、自由民主党関係支部連合会より要望についての説明があり、出席者による質疑・意見交換が行われました。

閉会にあたり、法改正による豪雪法の特例措置延長について、自由民主党として 10 年間の延長に賛成する方向性が示されました。

豪雪法の特例措置の延長について、民主党、自由民主党、国土交通省などの動きが活発になってきています。

法改正の実現に向けて、皆様からも機会を捉えての働きかけを引き続きお願いします。